

# 平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	06040206	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	マイクロバス運行事業	担当部署名	総務課総務グループ	
		作成責任者職氏名	課長 川口充弘	内線 230
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	06協働・行政経営	04健全な行財政運営	02行財政改革の推進	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和49年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村「マイクロバス」使用規程	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>村内における公的な団体で研修会、講習会等で団体活動の推進を図る。</p> <p>②内容</p> <p>マイクロバスの運行調整、バスの手配</p>	<p>村の執行機関、社会教育団体及び社会福祉協議会に属する団体</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>マイクロバスの円滑な運行</p>	<p>対象機関以外へのマイクロバスの使用</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		22 年度 実績	23 年度		24 年度 事業費(見込)	25 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		49	56	56	93	93		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	49	56	56	93	93		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	622	622	622	622	622		
総コスト費(千円)(A+C)		671	678	678	715	715		
人口あたりコスト(円)		109	110	110	116	116		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	運行回数	回	48	30	63%	48	48
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評價值(達成率平均值)

63% / 1 = **63%** (A)

(1/2)

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証			
評価項目	評価結果		評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	一定人数の移動に必要である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	一定人数の移動に必要である。
③効率性 ※効率的に進められているか	2	4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	利用頻度から所有が適当か検討する
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	必要時に利用できる。
○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	12	16	75% (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
63%	75%	69%	c
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
C	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
マイクロバス運行事業について、マイクロバス車両の老朽化への対応を検討する。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
マイクロバスのあり方について見直を検討する。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
マイクロバスのあり方について見直を検討する。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

